

小平中央公園鳥類調査報告書

2013年1月10日

井の頭バードリサーチ 高野丈

調査実施日時：2012年11月10日

天候：晴れ

調査員：どんぐりの会、井の頭バードリサーチ

a.うさぎ橋

ヒヨドリ	13	50.0%
シジュウカラ	6	23.1%
ヤマガラ	1	3.8%
メジロ	3	11.5%
シメ	3	11.5%

26

b.雑木林

シロハラ	5	9.3%
シジュウカラ	9	16.7%
ウグイス	1	1.9%
エナガ	5	9.3%
コゲラ	7	13.0%
メジロ	3	5.6%
ヒヨドリ	21	38.9%
ハシブトガラス	2	3.7%
ヒガラ	1	1.9%

54

d.津田塾遊歩道

ヤマガラ	1	5.6%
ヒヨドリ	13	72.2%
ハシブトガラス	1	5.6%
コゲラ	2	11.1%
メジロ	1	5.6%

18

e.津田塾大南

シジュウカラ	7	11.7%
エナガ	30	50.0%
ヤマガラ	4	6.7%

総合出現率

ウグイス	1	0.6%
エナガ	35	22.2%
キクイタダキ	6	3.8%
コゲラ	9	5.7%
シジュウカラ	22	13.9%
シメ	4	2.5%
シロハラ	5	3.2%
ハシブトガラス	3	1.9%
ヒガラ	1	0.6%
ヒヨドリ	58	36.7%
メジロ	8	5.1%
ヤマガラ	6	3.8%

158 100.0%

ヒヨドリ	11	18.3%
メジロ	1	1.7%
キクイタダキ	6	10.0%
シメ	1	1.7%

60

調査地：小平中央公園および玉川上水

調査方法：スポットセンサス

調査定点：うさぎ橋、中央公園雑木林、津田塾大遊歩道、津田塾大南

1. 全観察種（12種）

留鳥（一部漂鳥）：ウグイス、エナガ、コゲラ、シジュウカラ、ハシブトガラス、ヒヨドリ、メジロ、ヤマガラ

冬鳥：キクイタダキ、シメ、シロハラ、ヒガラ

2. 各定点での出現率

※太字は冬鳥

3. 調査結果について

- a. 調査定点4カ所の内、3カ所で冬鳥(キクイタダキ、シメ、シロハラ、ヒガラ)を確認。小平中央公園は冬鳥が越冬、あるいは立ち寄って休息する越冬地・中継地であることを示している。
- b. 留鳥・冬鳥共に、雑木林と津田塾大南側の玉川上水での観察種・個体数が多かった。
- c. 当地の環境を評価するには調査回数・頻度を増やし、数年間のモニタリングなどの追加調査をすることが必要。